

平成 22(2010) 年度

埋蔵文化財緊急発掘調査概報

藏人遺跡

垂水遺跡

中ノ坪遺跡

垂水南遺跡

垂水中遺跡B地点

吉志部瓦窯跡

吹田操車場遺跡

平成 23(2011) 年 3 月

吹田市教育委員会

序

吹田市では、昭和49(1974)年度の国庫補助事業による埋蔵文化財発掘調査の実施以来、これまでに市内の各所において多くの発掘調査をとり行つきました。これらの発掘調査からは、吹田市の歴史を知るための数多くの資料が得られ、そうした調査の成果は博物館における展示や講座などを通して、出来るかぎり市民の皆様にお伝えできるように努めております。

平成22(2010)年度は、国庫補助事業として市内に所在する遺跡について9件(12月末現在)の発掘調査を、事業者をはじめとする多くの方々のご協力を得て実施しました。本市教育委員会はこれからも文化財の保護行政により一層強く取り組みたいと考えております。市民の皆様におかれましても埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対して、今後とも深いご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成23(2011)年3月

吹田市教育委員会

教育長 田口省一

例　　言

1. 本書は平成 22 年度国庫補助事業として実施した、蔵人遺跡、垂水遺跡、中ノ坪遺跡、垂水南遺跡、垂水中遺跡 B 地点、吉志部瓦窯跡、吹田操車場遺跡(12月末現在)の緊急発掘調査をまとめたものである。

2. 発掘調査地点は次のとおりである。

蔵人遺跡	農津町 875-2
垂水遺跡	円山町 393-9
垂水遺跡	垂水町 1-731-2 - - 52
垂水遺跡	垂水町 1-752-4
中ノ坪遺跡	岸部南 2-45-4
垂水南遺跡	垂水町 2-1364-6
垂水中遺跡 B 地点	垂水町 1-776-14
吉志部瓦窯跡	岸部北 3-70-11
吹田操車場遺跡	片山町 1-2262-19

3. 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北 4 丁目 10 番 1 号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。

4. 本文の執筆は、賀納章雄が行った。

5. 図中の方位は磁北を示し、標高は T.P.(東京湾標準潮位)を示す。

6. 発掘調査においては、上田典男氏、鬼頭恵司氏、鬼頭有代氏、平尾修一氏、平尾浩子氏、西川祥一氏、岡本豊氏、岡本美玲氏、大月琢磨氏、田邊政勝氏、直井雅哉氏、直井朋美氏、小笠原潤氏、頼長登貴美氏をはじめ、多くの方々の協力を得ました。記して謝意を表します。

発掘調査参加名簿

調査主体　吹田市教育委員会

調査指導　大阪府教育委員会文化財保護課

調査担当　吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係　西本安秀、賀納章雄

調査補助員　秋山芳恵、小川里美、高井明美、林裕子

目 次

第1章 平成22(2010)年度埋蔵文化財発掘調査について	1
第2章 蔵人遺跡の発掘調査	3
第3章 垂水遺跡の発掘調査	5
第4章 中ノ坪遺跡の発掘調査	12
第5章 垂水南遺跡の発掘調査	14
第6章 垂水中遺跡B地点の発掘調査	16
第7章 吉志部瓦窯跡の発掘調査	18
第8章 吹田操車場遺跡の発掘調査	20

挿 図 目 次

第1図 発掘調査遺跡分布図	2
第2図 蔵人遺跡調査地周辺図	3
第3図 調査区平面図	4
第4図 土層断面図	4
第5図 垂水遺跡調査地周辺図1	5
第6図 調査区平面図[第1期]	6
第7図 土層断面図[第1期]	6
第8図 調査区平面図[第2期]	7
第9図 土層断面図[第2期]	8
第10図 垂水遺跡調査地周辺図2	9
第11図 調査区平面図[第3期]	10
第12図 土層断面図[第3期]	11
第13図 遺物実測図[第3期]	11
第14図 中ノ坪遺跡調査地周辺図	12
第15図 調査区平面図	13
第16図 上層断面図	13
第17図 垂水南遺跡調査地周辺図	14
第18図 調査区平面図	15
第19図 土層断面図	15
第20図 垂水中遺跡B地点調査地周辺図	16
第21図 調査区平面図	17

第22図	土層断面図	17
第23図	吉志部瓦窯跡調査地周辺図	18
第24図	調査区平面図	19
第25図	土層断面図	19
第26図	吹田操車場遺跡調査地周辺図	20
第27図	調査区平面図	21
第28図	土層断面図	21

図 版 目 次

図版 1	藏人遺跡 1	23
図版 2	藏人遺跡 2	24
図版 3	垂水遺跡第 1 期 1	25
図版 4	垂水遺跡第 1 期 2	26
図版 5	垂水遺跡第 2 期 1	27
図版 6	垂水遺跡第 2 期 2	28
図版 7	垂水遺跡第 2 期 3	29
図版 8	垂水遺跡第 2 期 4	30
図版 9	垂水遺跡第 3 期 1	31
図版10	垂水遺跡第 3 期 2	32
図版11	中ノ坪遺跡 1	33
図版12	中ノ坪遺跡 2	34
図版13	垂水南遺跡 1	35
図版14	垂水南遺跡 2	36
図版15	垂水中遺跡 B 地点 1	37
図版16	垂水中遺跡 B 地点 2	38
図版17	吉志部瓦窯跡 1	39
図版18	吉志部瓦窯跡 2	40
図版19	吹田操車場遺跡 1	41
図版20	吹田操車場遺跡 2	42

第1章 平成22(2010)年度埋蔵文化財発掘調査について

平成22(2010)年度は、藏人遺跡、垂水遺跡、中ノ坪遺跡、垂水南遺跡、垂水中遺跡B地点、吉志部瓦窯跡、吹田操車場遺跡の7遺跡9件の発掘調査を実施した(平成22年12月末時点)。

藏人遺跡は、豊津町・江坂町2丁目に所在する弥生時代から中世にかけての遺跡である。中世の史料に登場する藏人村と関連があると考えられている遺跡であり、これまでの発掘調査においても当該期の建物跡、井戸等の生活に関わる遺構・遺物が多く検出されている。今回の発掘調査は、藏人遺跡の南側周辺地である豊津町875-2において実施したものである。

垂水遺跡は、円山町・垂水町1丁目・2丁目一帯に広がる旧石器時代から中世にかけての遺跡である。昭和初期の千里丘陵上での宅地開発に伴い弥生時代の遺物が発見され、その後、垂水神社境内地の発掘調査で竪穴式住居跡や掘立柱建物跡等が検出され、弥生時代の高地性集落として知られるようになった。近年では、丘陵南側の平野部においても遺構・遺物の包含が確認されている。今回、垂水遺跡においては円山町393-9、垂水町1-731-2-52、垂水町1-752-4において計3件の発掘調査を行った。

中ノ坪遺跡は、岸部南2丁目・3丁目に所在する縄文時代から中世にかけての遺跡である。これまでのところ本発掘調査の件数は3件とそれほど多くないが、縄文時代草創期の有舌尖頭器や古墳時代の建物跡等の資料が得られている。今回の発掘調査は、岸部南2-45-4において実施した。

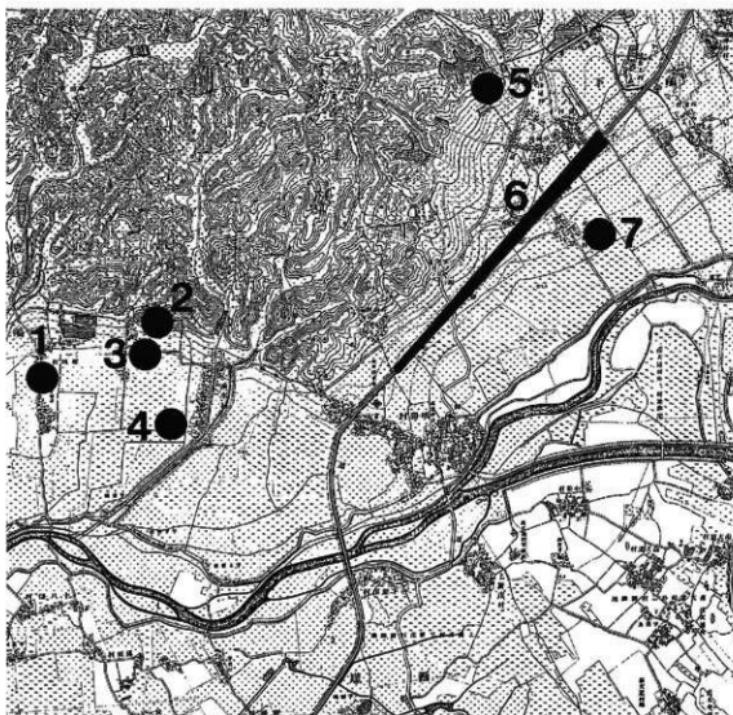
垂水南遺跡は、江坂町1丁目・垂水町2丁目・3丁目に広がる弥生時代から中世にかけての遺跡である。特に、当遺跡では古墳時代の鍛冶関連資料や滑石製品工房関連の資料、平安時代初期の垂水莊関連資料が注目されている。今回の発掘調査は、遺跡の南東端に当たる垂水町2-1364-6において実施したものである。

垂水中遺跡B地点は、垂水町1丁目に所在する古墳時代・中世の遺跡である。試掘調査で埋蔵文化財の包蔵が確認されており、これまで古墳時代の遺物の包含と中世の遺物とともに流路跡が認められている。今回の発掘調査は、遺跡の西側周辺地に当たる垂水町1-776-14において実施したものである。

吉志部瓦窯跡は、平安時代初期に平安宮への瓦の供給を目的に操業された瓦窯であり、岸部北4丁目に所在する。窯自体は、南面する丘陵斜面に構築されているが、窯の南側の傾斜部から平地部にかけて、瓦製作関わる建物跡や粘土採掘坑等の工房跡が展開している。今回の発掘調査は、工房跡の中でも粘土採掘坑に近い遺跡南東側周辺地である岸部北3-70-11において実施したものである。

吹田操車場遺跡は、旧吹田操車場跡地一帯に広がる旧石器時代から中世にかけての遺跡である。遺跡の範囲は、当初旧国鉄吹田工場(現JR西日本吹田工場)付近を中心とした遺跡であったが、平成10(1998)年度に行われた財團法人大阪府文化財調査研究センターによる発掘調

査以降、次第にその範囲の広がることが判明し、今日では、東は揖津市との市境まで、西はJR吹田駅東側付近までが吹田操車場遺跡の包蔵地として周知されている。今回の発掘調査は、遺跡西部周辺地となる片山町1-2262-19において実施したものである。



(遺跡名)

- 1. 蔵人遺跡
- 2. 垂水遺跡
- 3. 垂水中遺跡B地点
- 4. 垂水南遺跡
- 5. 吉志部瓦窯跡
- 6. 吹田操車場遺跡
- 7. 中ノ坪遺跡

第1図 発掘調査遺跡分布図(1:40,000 明治18(1885)年測量地図)

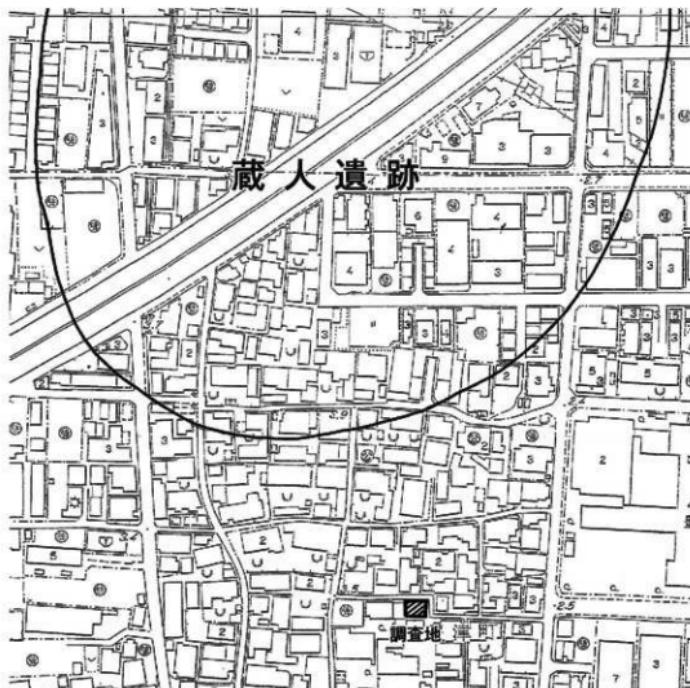
第2章 蔵人遺跡の発掘調査

(1)調査の経過

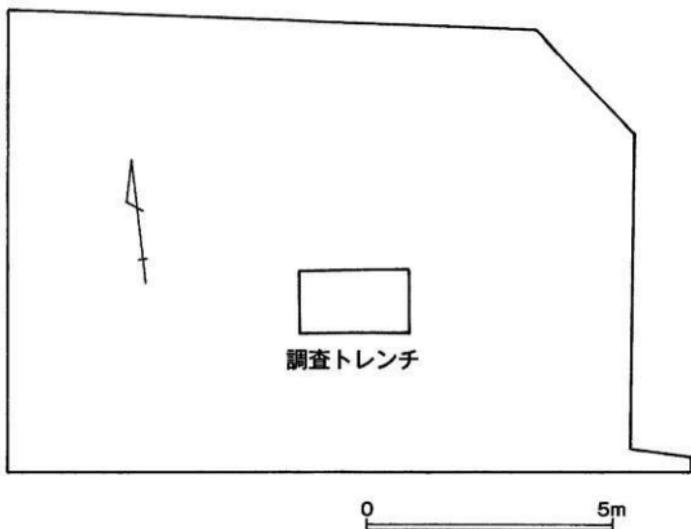
今回の発掘調査は、蔵人遺跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年4月8日に調査トレンチを1ヶ所(約2.8m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2)調査の成果

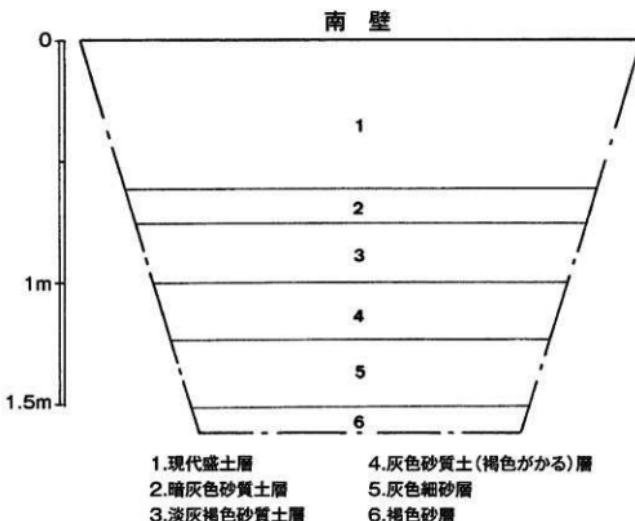
調査トレンチを約1.6mの深さまで掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、暗灰色砂質土層[第2層]、淡灰褐色砂質土層[第3層]、灰色砂質土(褐色がかる)層[第4層]、灰色細砂層[第5層]、褐色砂層[第6層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物の包含については確認されなかった。



第2図 蔵人遺跡調査地周辺図(1:2,500)



第3図 調査区平面図



第4図 土層断面図

第3章 垂水遺跡の発掘調査

垂水遺跡では、3件の発掘調査を実施した。本章ではそれぞれの調査地点ごとに成果をまとめる。

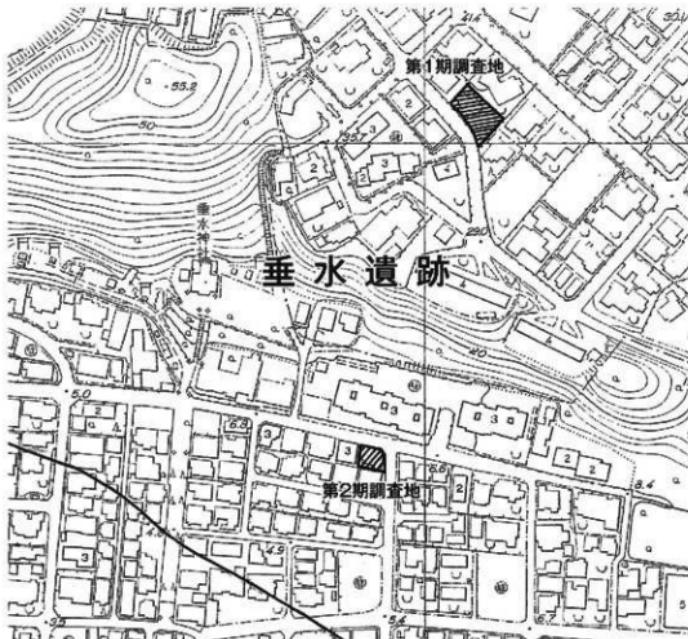
1. 円山町 393-9 における発掘調査[第1期]

(1) 調査の経過

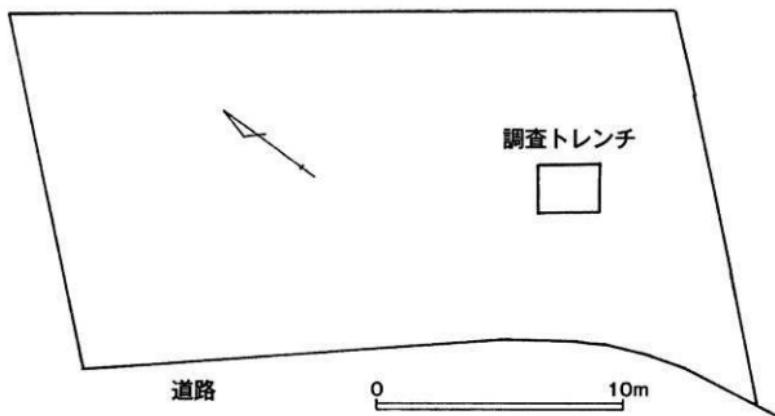
今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年6月7日に調査トレンチを1ヶ所(約5m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

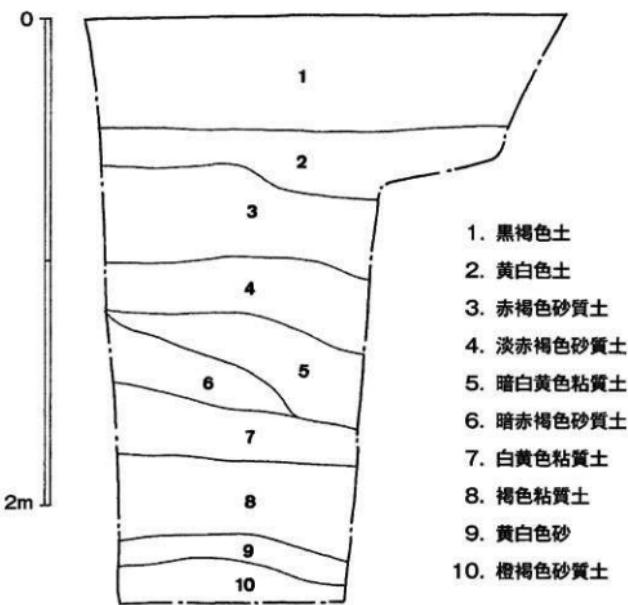
調査トレンチを約2.4mの深さまで掘削を行ったが、砂・砂質土・粘質土等からなる現代盛土層が認められたのみで、遺構・遺物の包含については確認されなかった。



第5図 垂水遺跡調査地周辺図1(1:2,500)



第6図 調査区平面図(第1期)



第7図 土層断面図(第1期)

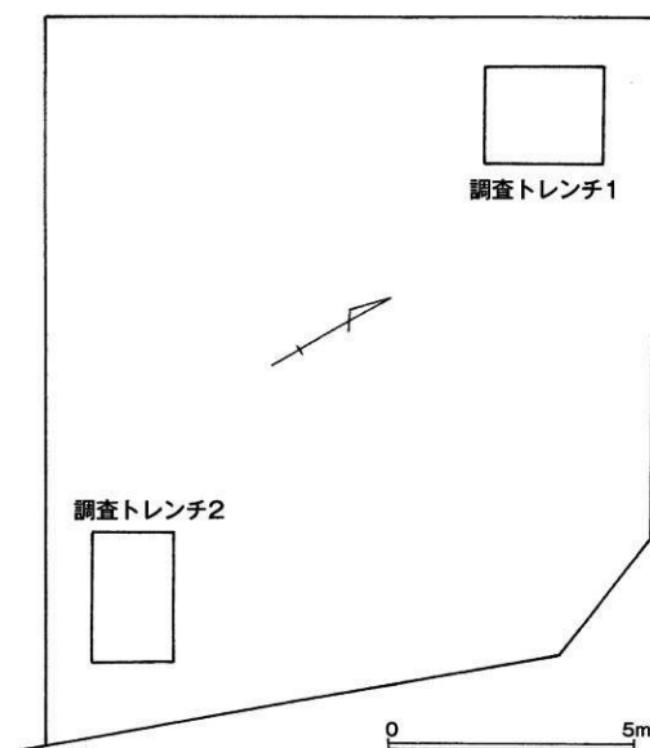
2. 垂水町 1-731-2-52 における発掘調査[第2期]

(1) 調査の経過

今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、造構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年11月10日に調査トレンチを2ヶ所(約9.6m²)設定し、重機を用いて実施した。

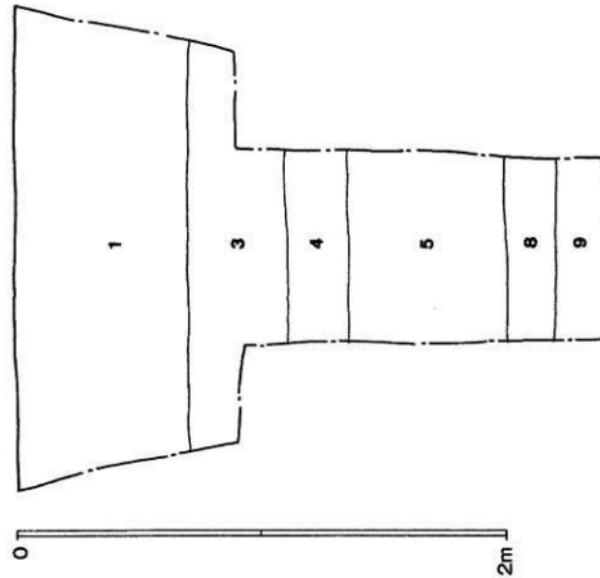
(2) 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、トレンチ間で若干の差異があるものの、灰色系あるいは褐色系の砂層・砂質土層[第2~7層]の堆積があり、その下層で共通して黒褐色粘質土層[第8層]、淡黒色粘質土層[第9層]の堆積が認められたが、明確な造構・遺物については確認されなかった。



第8図 調査区平面図(第2期)

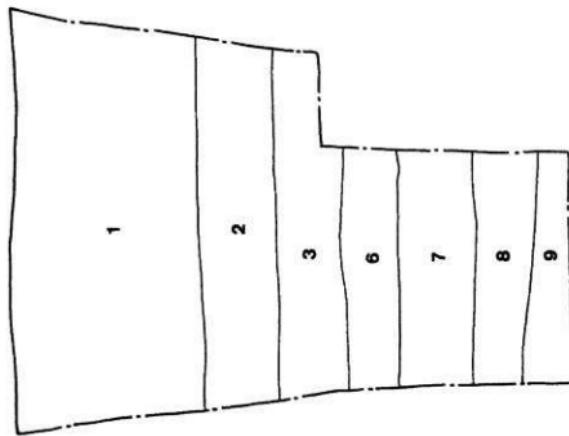
調査トレンチ1



1. 現代盛土層
2. 白色砂疊層
3. 灰色砂疊層
4. 淡灰色砂質土層
5. 暗青色砂層
6. 淡褐色砂質土層

7. 茶褐色砂質土層
8. 黒褐色粘質土層
9. 淡黑色粘質土層

調査トレンチ2



第9図 土層断面図(第2期)

3. 垂水町 1-752-4 における発掘調査[第3期]

(1) 調査の経過

今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成 22(2010)年 12月 24 日に調査トレンチを 1ヶ所(約 8.5 m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

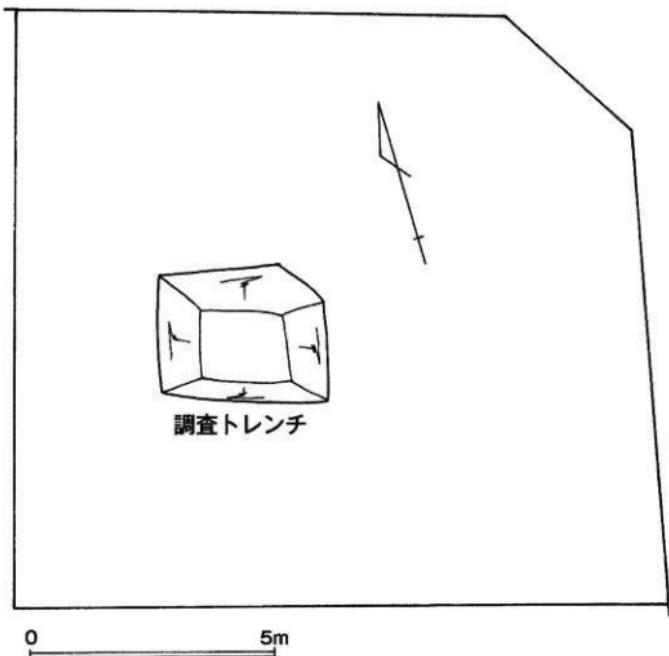
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層である暗灰色砂質土層[第2層]、灰色砂質土(鉄分含む)層[第3層]、灰色砂質土層[第4層]、暗灰色砂質土層[第5層]、黒灰色砂質土層[第6層]の堆積が認められた。これら土層のうち、第3層において流れ込みによるとみられる弥生土器片 1点が検出され、第5層と第6層においては、弥生土器片、平安時代の須恵器片・土師器片、中世の土師器片・瓦器片が多く含まれていた。



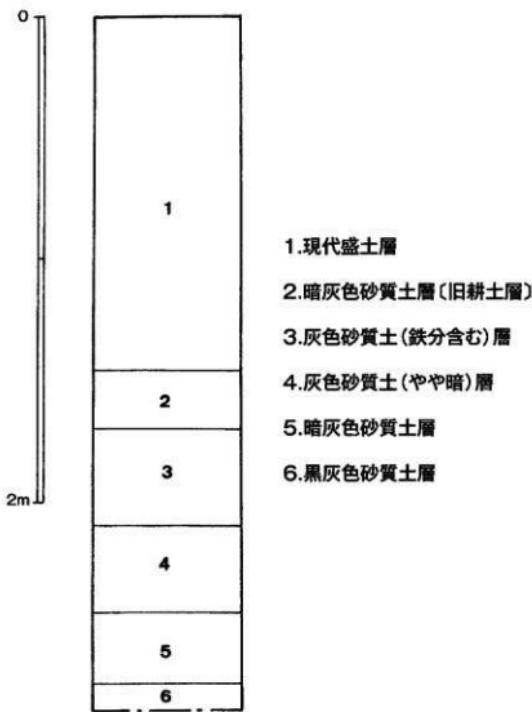
第10図 垂水遺跡調査地周辺図2(1:2,500)

出土遺物で図化できたもの(第13図)をみると、1は第3層出土の弥生土器高杯の脚部である。外面に縦方向のミガキが施されている。2～4は第5・6層出土のもので、2・3は平安時代前期の所産で、2は須恵器杯底部、3は土師器杯である。4は中世の土師器皿である。

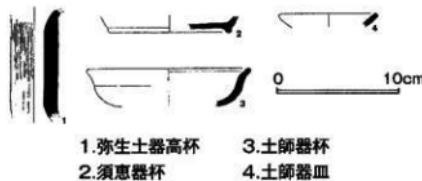
当調査地は、丘陵から平野部にかけての地形的変換点に位置し、第5層と第6層については、そうした地形的変換点上の傾斜地面に堆積した、中世を下限時期とする遺物包含層であると考えられる。



第11図 調査区平面図(第3期)



第12図 土層断面図(第3期)



第13図 遺物実測図(第3期)

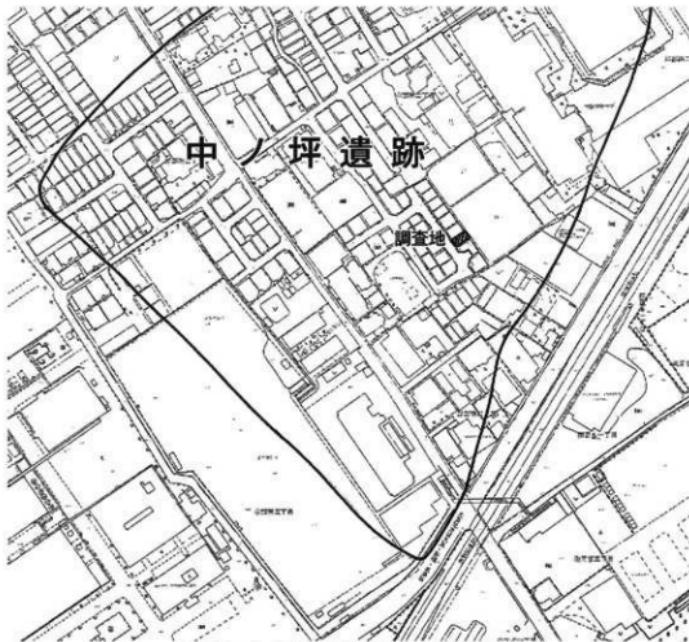
第4章 中ノ坪遺跡の発掘調査

(1) 調査の経過

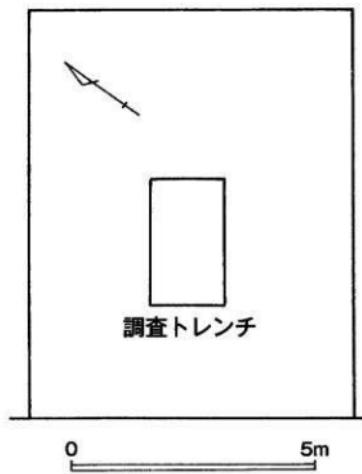
今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年8月17日に調査トレンチを1ヶ所(約3.9m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

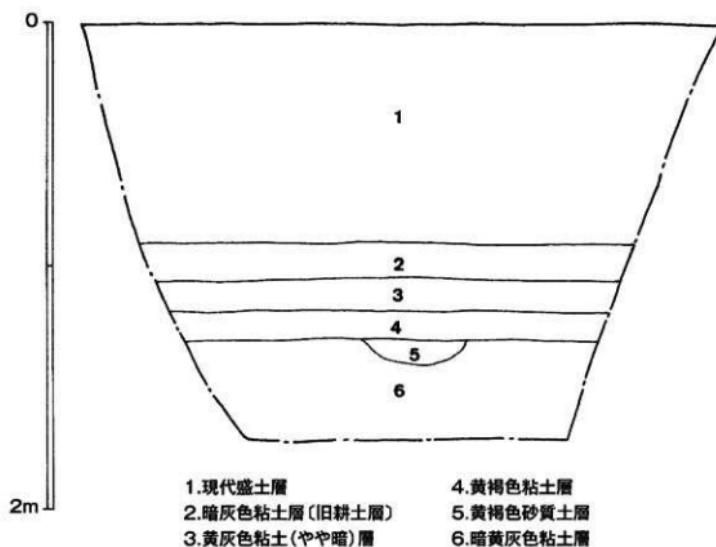
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層である暗灰色粘土層[第2層]、黄灰色粘土(やや暗)層[第3層]、黄褐色粘土層[第4層](部分的に黄褐色砂質土層[第5層])、暗黃灰色粘土層[第6層]の堆積が認められた。これら土層のうち、第4層内にて古代以前のものとみられる須恵器片1点が検出されたが、この須恵器片については細片であり、他所から流れ込んだ二次的な堆積によるものと考えられ、今回の調査において一次的堆積による明確な遺構・遺物は確認されなかった。



第14図 中ノ坪遺跡調査地周辺図(1:2,500)



第15図 調査区平面図



第16図 土層断面図

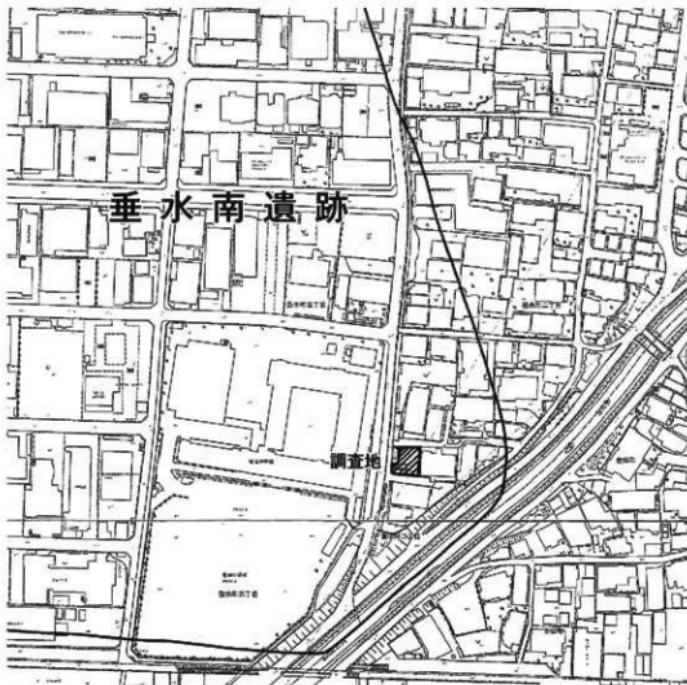
第5章 垂水南遺跡の発掘調査

(1) 調査の経過

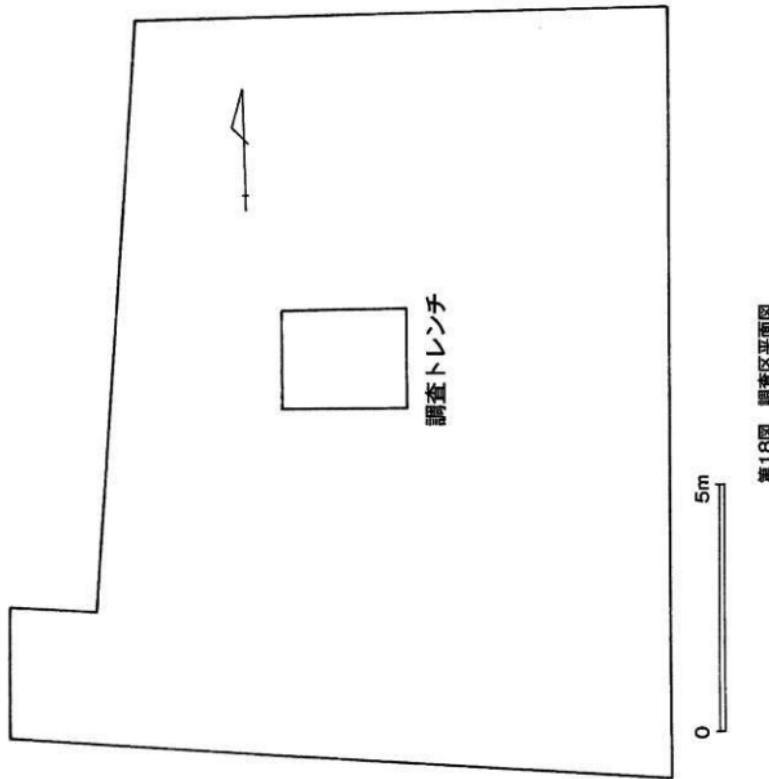
今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年10月4日に調査トレンチを1ヶ所(約5m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

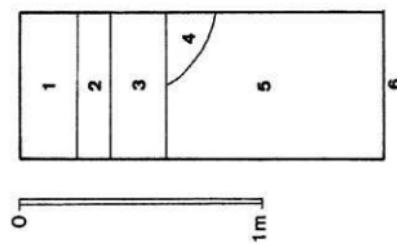
調査トレンチを約1.5mの深さまで掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、暗灰褐色砂質土層[第2層]、灰褐色砂質土層[第3層]、灰褐色砂質土(やや暗)層[第4層]、淡灰色砂層[第5層]、青灰色砂質土層[第6層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第17図 垂水南遺跡調査地周辺図(1:2,500)



第18図 調査区平面図



1. 現代盛土層
2. 残瓦褐色砂質土層
3. 灰褐色砂質土層
4. 灰褐色砂質土(やや暗)
5. 淡灰色砂層
6. 青灰色砂質土層

第19図 土層断面図

第6章 垂水中遺跡B地点の発掘調査

(1) 調査の経過

今回の発掘調査は、垂水中遺跡B地点の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年11月4日に調査トレンチを1ヶ所(約35m²)設定し、重機を用いて実施した。

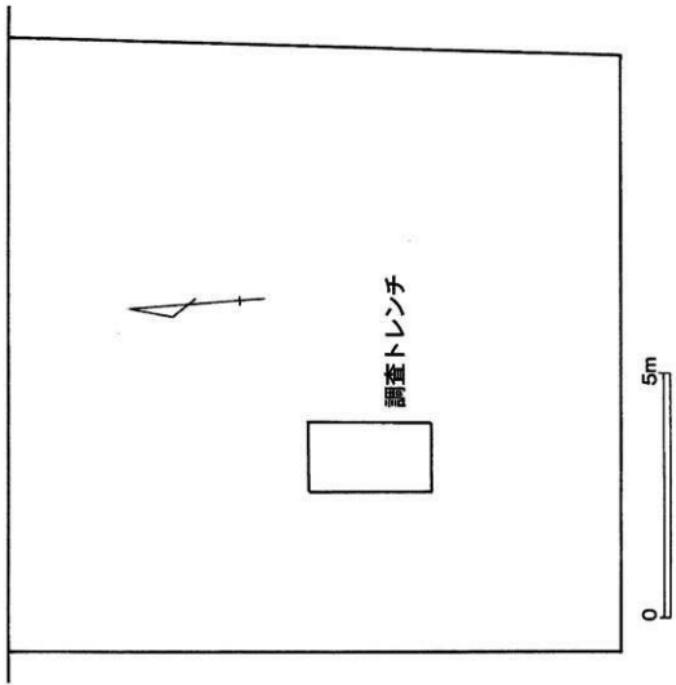
(2) 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、茶褐色粘土層[第2層]、茶褐色砂(灰色砂混じる)層[第3層]、茶褐色粘土(灰色砂混じる)層[第4層]、暗灰色砂層[第5層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。

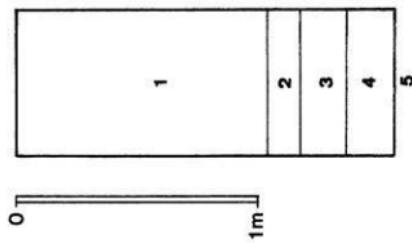


第20図 垂水中遺跡B地点調査地周辺図(1:2,500)

第21図 調査区平面図



1. 現代粘土層
2. 茶褐色粘土層
3. 茶褐色砂層
(灰色砂混じる)
4. 茶褐色粘土層
(灰色砂混じる)
5. 須灰色砂層



第22図 土層断面図

第7章 吉志部瓦窯跡の発掘調査

(1) 調査の経過

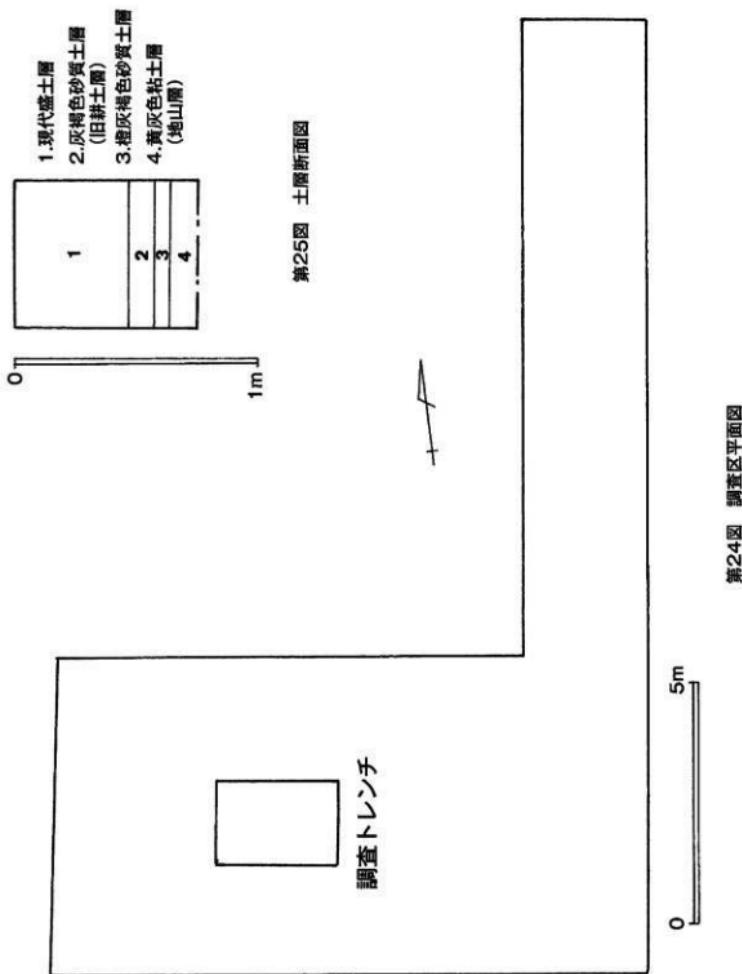
今回の発掘調査は、吉志部瓦窯跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年10月29日に調査トレンチを1ヶ所(約4.3m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層である灰褐色砂質土層[第2層]、橙灰褐色砂質土層[第3層]、地山層である黄灰色粘土層[第4層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第23図 吉志部瓦窯跡調査地周辺図(1:2,500)



第8章 吹田操車場遺跡の発掘調査

(1) 調査の経過

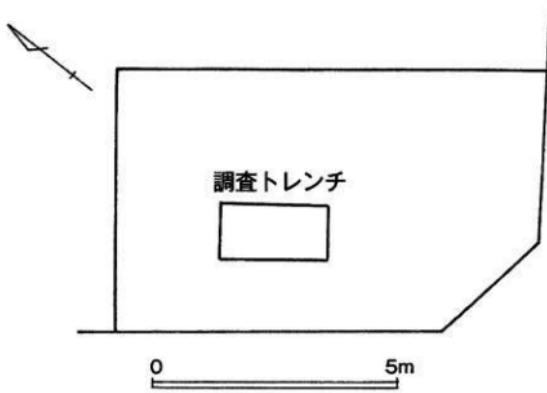
今回の発掘調査は、吹田操車場遺跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成22(2010)年11月15日に調査トレンチを1ヶ所(約2.6m²)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]および旧表土層である暗灰色土層[第2層]以下、6層にわたる黄灰色あるいは灰褐色の砂質土層・粘質土層[第3～8層]の堆積があり、その下層に地山層である淡黄灰色粘質土層[第9層]が認められた。これら土層のうち、第5～8層内にて中世以前のものとみられる土師器・須恵器片が4点検出されたが、これらは細片であり、他所から流れ込んだ二次的な堆積によるものと考えられ、今回の調査において一次的堆積による明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第26図 吹田操車場遺跡調査地周辺図(1:2,500)



第27図 調査区平面図



第28図 土層断面図

報告書抄録

ふりがな	へいせい 22(2010)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはつくつちょうさがいほう
書名	平成 22(2010)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	藏人遺跡 垂水遺跡 中ノ坪遺跡 垂水南遺跡 垂水中遺跡B地点 吉志部瓦窯跡 吹田操車場遺跡
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	賀納草雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL(06)6384-1231
発行年月日	西暦 2011年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号	°	'			
くろ うど い せき 藏人遺跡	吹田市豊津町875-2	27205	85	34° 45' 49"	135° 29' 29"	20100408	2.8	試掘調査
たる み い せき 垂水遺跡	吹田市円山町393-9	27205	86	34° 46' 05"	135° 30' 16"	20100607	5	確認調査
たる み い せき 垂水遺跡	吹田市垂水町1-731-2・-52	27205	86	34° 46' 05"	135° 30' 16"	20101110	9.6	確認調査
たる み い せき 垂水遺跡	吹田市垂水町1-752-4	27205	86	34° 46' 05"	135° 30' 16"	20101224	8.5	確認調査
なか の つけ い せき 中ノ坪遺跡	吹田市岸部南2-45-4	27205	97	34° 46' 19"	135° 32' 28"	20100817	3.9	確認調査
たる み みなみ い せき 垂水南遺跡	吹田市垂水町2-1364-6	27205	88	34° 45' 40"	135° 30' 11"	20101004	5	確認調査
たるみななかいせき ちでん 垂水中遺跡B地点	吹田市垂水町1-776-14	27205	107	34° 45' 53"	135° 30' 10"	20101104	3.5	試掘調査
きしへが ようやせき 吉志部瓦窯跡	吹田市岸部北3-70-11	27205	38	34° 47' 02"	135° 31' 53"	20101029	4.3	試掘調査
すいたそうちやくわいせき 吹田操車場遺跡	吹田市片山町1-2262-19	27205	73	34° 46' 13"	135° 31' 53"	20101115	2.6	試掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
藏人遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	旧石器～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	旧石器～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	旧石器～中世	なし	弥生土器・須恵器 土師器・瓦器	なし
中ノ坪遺跡	集落遺跡	縄文～中世	なし	須恵器	なし
垂水南遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
垂水中遺跡B地点	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
吉志部瓦窯跡	生産遺跡	平安	なし	なし	なし
吹田操車場遺跡	集落遺跡	旧石器～中世	なし	土師器・須恵器	なし

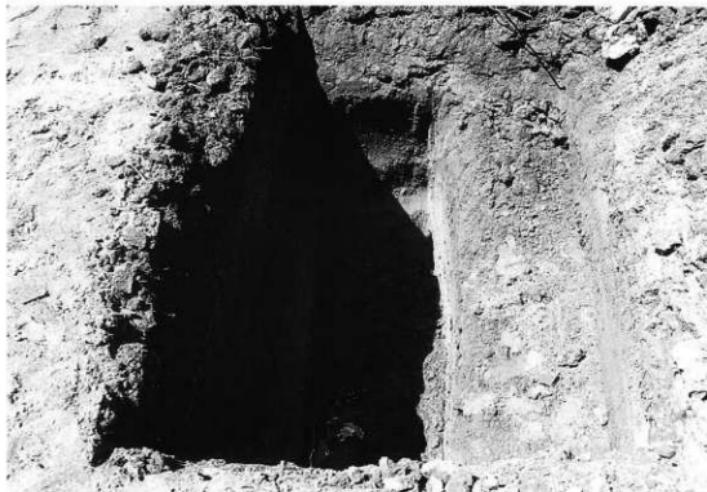


調査地近景（西から）



調査トレンチ近景（東から）

図版2
藏人遺跡
2



調査トレンチ掘削状況（東から）



調査トレンチ南壁（北から）



調査トレンチ近景（南から）



調査トレンチ掘削状況（北西から）

図版4 垂水遺跡 第1期 2



調査トレンチ南壁（北から）



調査トレンチ東壁（西から）



調査地近景（南西から）



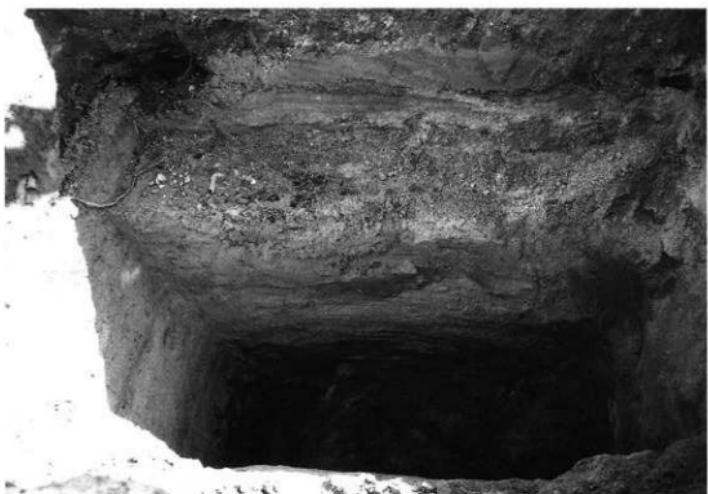
調査トレンチ1 近景（南から）



調査トレンチ1 挖削状況（南から）



調査トレンチ1 北壁（南から）



調査トレンチ1 東壁（西から）



調査トレンチ2 掘削状況（西から）



調査トレンチ2 近景（南から）



調査トレンチ2 東壁（西から）



調査地近景（北から）



調査トレンチ近景（北西から）



調査トレンチ南壁（北から）



調査トレンチ埋め戻し状況（北東から）



調査地近景（北西から）



調査トレンチ近景（東から）



調査トレンチ南壁（北から）



調査トレンチ埋め戻し状況（南西から）



調査地近景（南西から）



調査地近景（北西から）



調査トレンチ近景（西から）



調査トレンチ南壁（北から）



調査地近景（北から）



調査トレンチ近景（南から）



調査トレンチ掘削状況（西から）



調査トレンチ東壁（西から）



調査地近景（北から）



調査地近景（東から）



調査トレンチ近景（西から）



調査トレンチ南壁（北から）



調査トレンチ近景（南から）



調査トレンチ近景（北東から）

図版 20

吹田操車場遺跡

2



調査トレンチ西壁（東から）



調査トレンチ埋め戻し状況（南から）

平成22（2010）年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

藏人遺跡
垂水遺跡
中ノ坪遺跡
垂水南遺跡
垂水中遺跡B地点
吉志部瓦窯跡
吹川操車場遺跡

平成23（2011）年3月31日

編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会

